**第12回森林ボランティア活動反省会議事録**

日　時：2019.5.13（月）　18：00～20：00

場　所：神戸市立福祉センター　３号会議室

出席者　＜敬称略＞

　　　渡辺、薬師寺、福田、西山、岡野宜也、岡野英夫、糀谷、

（記録）令和元年（2019）年５月16日

兵庫協会環境部　宮本秀明

議　案

1．活動の意義が、分からないから参加しないのか？

　　参加者の偏りと、釣り協の他団体が参加してくれないのは意義が分かっていないのではないか？

　意見交換

　　・意義は分かっているが、自分たちに何が報われるのか？　先の長い話！

　　・わざわざ他人の山に、クヌギの木を植林して炭焼きの手伝いをなんでするの？

　　・山に木を植えるより、海に漁礁になる木を入れる運動を？

　　・参加者に、このボランティアの面白さを口コミで伝達すればもっと増える。

　　・今の人数以上に参加者が増えた場合、何をするのか？

　　・現状の人数から作業の計画をして地道な活動を！

　　・釣った魚によっては食べずにリリースすることも。

　　・食事の時のトン汁は最高にうれしい。

　　・植林したクヌギの木の生長が目で見てわかりにくい。

　　・一般会員が行事の内容を知らない。

　　・クラブの会長が会員まで周知していない。

　　・会長が行けないので不参加で申請する。

　　・アンケートを全会員に書いてもらい糸口を掴む（設問の検討が必要）。

対応策

１-1.　先ず、兵庫協会のHPへ自然環境保護活動（仮称）のコーナーを設けて、そこをアクセスすると、①　瀬戸内オリーブ基金活動　②日釣振の「なぜ森に木を植えるのか」③ 海と日本プロジェクト等のコーナーが見れる。また、新聞記事なども掲載して興味を持ってもらう。･･･････協会広報部と協業で作る（年度内）

　　1-2.ボランティア委員の登録制

　　　・HPへこの様な窓口を設けて登録をして貰う。

　　　・活動は、森林ボランティア・清掃活動・善意の釣り子供の釣り指導等に参加の出来る体制をつくる。･････1-1.に同じ

　　　・この要員を参加案内の時に優先的に参加して貰う。

　　1-3.　追跡できるクヌギの木を、５本位選定して（表示を：何年何月何日植林者名）名札に記載して追跡写真撮影をする。「成果の見える化」

･･････NPO法人ひょうご森の倶楽部

２．森林ボランティア活動の基本構成･･･････（計画表に基づく）

　　・NPO法人瀬戸内オリーブ基金助成事業として申請をする。･･･････兵庫協会

・活動基本計画と下拵え、作業指導･･･････NPO法人「ひょうご森の倶楽部」

・助成金申請・作業ボランティア募集活動・取り纏め･･････兵庫協会（宮本環境部長）

３．森林ボランティア活動の継承

　　活動の取り纏めは兵庫協会環境部がひょうご森の倶楽部との綿密な連絡、連携を

持って行う。

2020年度から、計画・案内・実施・報告の手順は「手順書」と引継ぎ者実施活動を通して継承する。･･･････兵庫協会環境部・本部とNPO法人ひょうご森の倶楽部と連携して進める。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上